



The International Conference on Asian Digital Libraries (ICADL) は、電子図書館・デジタルアーカイブ・大規模データのマネージメント・情報検索等をテーマに、今年で9回目を迎えた国際会議です。現在までに台北・ソウル・バンガロール・シンガポール・クアラルンプール・上海・バンコクで開催され、日本での開催は今回が初めてになります。

今回の ICADL では、日本を代表する情報科学分野の研究者であり、日本の電子図書館研究のリーダーである長尾真先生に、キーノートスピーカーとしてお話いただきます。また、注目を集めている Google による書籍の全文検索プロジェクト、Google Book Search (旧 Google Print) の Engineer Director、Daniel Clancy 氏が来日し、講演されます。さらに、学術雑誌の電子図書館サービス (NACSIS-CAT, NACSIS-ELS 等) で中心的に活躍されてこられた安達淳先生に、e-Science の発展を支える学術情報基盤についてお話いただきます。先進的な情報教育で知られるシンガポールからは、Nanyang Technological University の Schubert Foo 先生に、アジア太平洋地域における図書館情報学教育に関する活動についてお話いただきます。途上国の子供たちの教育に 100 ドルコンピュータを提供するプロジェクトで活躍されている Mary Lou Jepson 博士からは、子供たちが本を読むためのラップトップ PC のアーキテクチャやディスプレイについてお話していただきます。

この他、多数の研究発表・ポスター・パネルが予定されています。

最終日には各国の電子図書館関係者、ならびに 2006 年秋に開館予定の京都国際マンガミュージアムによる特別セッションが行われます。

また、情報処理学会 DBS 研究会／特定領域研究「情報爆発 IT 基盤」／京大 COE による「データベースと Web 情報システムに関するシンポジウム (DBWeb2006)」は京都で開催され、ICADL2006 と連続して行われることになっており、両方に申し込んだ場合、参加費の割引が行われます。ICADL2006/DBWeb2006 合同で「次世代サーチ」に関するパネル討論も予定されています。

11 月、会場となる京都は一年でもっとも美しい季節です。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

なお、講演の題目は以下の通りです。

知識とコンテンツ処理の時代

長尾真 (NICT, 日本)

e-Science の発展を支えるサイバー・サイエンス・アーキテクチャと学術情報基盤 ～日本における事例～

安達淳 (国立情報学研究所, 日本)

アジア太平洋地域における図書館情報教育のための協力関係

シューベルト・フー (Nanyang Technological University, シンガポール)

世界中の本に索引を付ける: Google Book Search プロジェクトの挑戦と未来

ダニエル・克蘭シー (Google, アメリカ)

十億の子供たちと電子図書館: 100 ドルノートパソコン、日光下視認可能なディスプレイ、そしてあなたの協力によってできること。

メアリー・ルー・ジェプセン (One Laptop per Child, アメリカ)



会場

京都大学 芝蘭会館

実行委員会

Honorary Conference Chair	Makoto Nagao (NICT, Japan)
General Chair	Katsumi Tanaka (Kyoto University, Japan)
Program Co-Chairs	Jane Hunter (University of Queensland, Australia) Andreas Rauber (Vienna University of Technology, Austria) Shigeo Sugimoto (University of Tsukuba, Japan)
Tutorial/Workshop Chair	Jun Adachi (National Institute of Informatics, Japan)
Finance Chair	Masatoshi Yoshikawa (Kyoto University, Japan)
Publication Chair	Atsuyuki Morishima (University of Tsukuba, Japan)
Publicity Co-Chairs	Taro Tezuka (Kyoto University, Japan) Kenji Hatano (Doshisha University, Japan)
Local Arrangement Co-Chairs	Satoshi Oyama (Kyoto University, Japan) Akira Maeda (Ritsumeikan University, Japan)
ICADL Steering Committee Chair	EePeng Lim (Nanyang Technological University, Singapore)

会議ウェブサイト

ICADL2006 <http://www.icadl2006.org/index-jp.html>
(または <http://www.dl.kuis.kyoto-u.ac.jp/icadl2006/index-jp.html>)
ICADL <http://www.icadl.org>

参加登録の方法

会議のウェブサイト、<http://www.icadl2006.org/index-jp.html> よりお申し込みください。

「参加登録／宿泊予約」というリンクの先に申込用サイトがあります。

早期登録割引の締め切りは、10月27日です。

最終的な参加登録締切は、11月13日 18:00（日本時間）です。

主催

京都大学 21 世紀 COE プログラム 「知識社会基盤構築のための情報学拠点形成」

筑波大学 大学院 図書館情報メディア研究科 知的コミュニティ基盤研究センター

情報処理学会 データベースシステム研究会

協賛

日本データベース学会

文部科学省科学研究費補助金 特定領域研究 「情報爆発時代に向けた新しい IT 基盤技術の研究」